



の数だけ、別の風景を見ることができ、これがこのイベントの魅力です」
 おとこの第一回には百七十人、昨年は百九十人が参加。ことしは市外からも参加者を募ろうと、東京で写真展を行いました。
 「イベントの盛り上がり、まちのにぎわい、そして鉄道利用という相乗効果を大いに期待

ルナさんと櫻井さん。「1年のうち、その日だけは街中カメラを持った人でいっぱいになったら面白いですね」。 昨年のイベントで参加者の写真を撮るルナさん。 作品の展示会の様子。

「ゆくゆくは、毎日仙台駅前
 けていく予定です。」
 その後本格的な事業へと結びつ
 回ほど試験的なツアーを実施し、
 業化を考えています。今年は一
 達の歳時記」というツアーの事
 の歴史・文化を体験してもらつ、伊
 ライターの方々と一緒に、仙台
 お二人は食の専門家、フリー

「何度でも、仙台に來たいと思っ
 文化や歴史に触れて体験しても
 らうことや、地元の人との交流
 が大切だと思います」と話すの
 はバス会社を経営する猪股正之
 さん。また「日常では味わえない
 ゆったりとした時間を過ごして
 いただきたいですね」とは仙台
 の伝統工芸「玉虫塗」制作会社
 の佐浦みどりさん。

仙台の歴史と文化を知る本物ツアー

「一緒に東京
 向けの宣伝を企画中のJR東日
 本の櫻井広明さん。
 ことしの「One day in 仙台」は
 六月十一日(土)に行います。
 ぜひご参加ください。
 問 ジャパンネット(資)
 ホームページ <http://www.onedayin.net/>

ネットワークで広がるビジネス

仙台ビジターズ産業ネットワーク
 コーディネーター 望月 孝さん

仙台には、全国に誇れる「資源」が驚くほどたくさんあります。祭り・イベントやスポーツ、食、商店街・・・そして何よりも仙台に住む「人財」。意欲的な経営者や市民・学生、これらの人々はまちの財産です。どんどん「人財」を発掘し、新しいプロジェクトをつくっていきたく考えています。

今回紙面で紹介した以外にも、スポーツ資源を活用したビジネスや大学生の中で動き出している面白い企画など意欲的な取り組みが生まれようとしています。これからは、学生の発想と事業者の実行力を組み合わせていきたいと思ひます。全く違う業種や市民・学生



などが手を結ぶことで、新しい切り口の商品・サービス、ビジネスが生まれるチャンスが広がります。仙台ならではの新しい集客ビジネスで仙台を活性化させて、市民も、訪れる方も楽しめるまちにしていきたいですね。

から、地元ツアーのバスが出
 発して、みんなが気軽に仙台に
 ついて知ることができるよう



佐浦さん。「伝統や文化を知っていただくとともに、人と人とのふれあいのあるツアーにしたいですね。」



猪股さん。「地元の人でなければ作れないようなツアーで、仙台の新しい魅力を紹介していきます。」

仙台ビジターズ産業ネットワーク
 についてのお問い合わせは
 (財)仙台観光コンベンション協会
 ホームページ <http://www.stcb.or.jp/>
 268・6296

「なったらすごいですね」
 問 仙台バス(株) 722・7335
 人を引きつける新しいビジネスで仙台の魅力を高め広めていくことは、そこに住むわたしたちにとっても楽しいものです。
 ネットワークはまだ始動したばかり。今後会員が増えていくことで、たくさんの方の集客力のある商品が生まれていく可能性が広がっていきます。